

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
国 語	文 学 国 語	3	2	文系GA	1～4組

教 科 書	『精選 文学国語』（筑摩書房）	副 教 材	『読解を深める現代文単語 評論・小説』（桐原書店）
			『上級入試漢字・語彙』（桐原書店）ほか

科 目 の 目 標	<p>(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 社会生活における他者との関わりのなかで伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。</p> <p>(3) 言語感覚を磨き、言語文化の担い手としての自覚を持ち、国語の能力向上を図る態度を養う。</p>
-----------------------	--

科 目 の 概 要	<p>「現代の国語」「言語文化」により育成された資質・能力を基盤として、創造的・論理的思考の力を伸ばしつつ、他方で人の心の機微にふれ、日常の生活を見つめなおす契機として重量な役割をはたす文学的文章の学習を通して、感性や情緒、共感力、表現力の育成をあわせて行い、全般的な言語運用力を伸ばす科目である。</p>
-----------------------	---

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」 ⑥「受信・発信力」 ⑨「自己管理能力」	②「課題適応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	②「課題適応力」 ⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	○言葉には、認識や説明を可能にし、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解したか。 ○表現を通じて、語感を磨き、語彙力を豊かにできたか。 ○文章の種類・特徴や技法について、体系的に理解しているか。 ○読書の効用と意義について、理解を深められたか。	○読み手の関心を引き出す文章表現・文体・修辞の工夫ができているか。 ○作品の語りや構成等に注意して、内容の解釈ができているか。 ○多角的な視点から自分の考えを見直し、根拠や論拠の吟味を重ねて、主題や主張を明確に理解、表現したか。 ○文章の解釈を通じて、人間、社会、自然などへの洞察を深められたか。	○社会的な話題や文学作品について、評価し、他者の考えを参考にしながら、論述したり討論したりすることができたか。 ○先行する研究や作品を参考に、様々な観点を示したり、創作したり、批評したりできたか。 ○社会的な事柄や文学的事象について調べるなどして、成果を発表したり、まとめたりすることができたか。
評 価 の 方 法	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学期末・学年末の総合成績をもって評価する。	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学期末・学年末の総合成績をもって評価する。	○授業内・外での学習活動等 ○課題への取り組み・提出状況 以上をもとに、学期末・学年末の平常点で評価する。

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	◇随想・評論 梨木果歩『プラスチック膜を破って』 高梨秀爾『実態の美と状況の美』 ◇漢字・語彙の学習 【1学期 中間試験】 5月18日～21日	○文章の構成・展開、描写などを的確に捉えられるようにする。 ○場の共有によるコミュニケーションの成立や日本人の伝統的な美意識について理解を深める。
	◇小説 中島 敦『山月記』 角田光代『「私は」一書き出しの一行』 小説のポイント ◇漢字・語彙の学習 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	○語りを主体とした作者独自の文体に着目して、登場人物の心理やその背景にある状況について把握する。 ○小説の文体がその内容や解釈に与える影響を理解し、自らの表現に役立てる。
2 学 期	◇随想・評論 立川健二「記号論と生のリアリティ」 ドミニク・チェン「未来をつくる言葉」 ◇漢字・語彙の学習 【2学期 中間試験】 10月14日～17日	○文章の構成・展開、描写などを的確に捉えられるようにする。 ○言語の本質について、筆者それぞれの視点から理解を深める。
	◇小説 夏目漱石『こころ』（前半） ◇漢字・語彙の学習 【2学期 期末試験】 12月1日～7日	○小説の形式や表現の特色に留意して、登場人物の言動や心情を理解する。 ○主人公の視点を通して、人間心理の多面性や他者との心理的距離の問題に注目し、作品世界の全体像を把握する。
3 学 期	◇小説 夏目漱石『こころ』（後半） ◇詩歌 室生犀星「小景異情」、中原中也「サーカス」、宮沢賢治「永訣の朝」 ◇漢字・語彙の学習 【3学期 学年末試験】 3月4日～9日	○小説の形式や表現の特色に留意して、登場人物の言動や心情を理解する。 ○同時代の社会状況や習慣への理解を深め、自分たちのありようを相対的に捉える。 ○詩の読解を通じて、それぞれの詩の特徴や修辞などの表現技法について理解する。